

登園の際には、下記の登園届の提出をお願いいたします。
(なお、登園のめやすは、子どもの全身状態が良好であることが基準となります。裏面をご参照のうえ、ご判断ください。)

登 園 届 (保護者記入)

_____ 保育園園長 様

_____ クラス名

_____ 入所児童氏名

病名 「 _____ 」 と診断され、

令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日 医療機関名 「 _____ 」 において

病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので、登園いたします。

_____ 保護者名

保育所は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、子どもたちが一日快適に生活できることが大切です。

お子様がよくかかる感染症については、裏面の登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断にしたがい、登園届の提出をお願いいたします。なお、保育所での集団生活に適應できる状態に回復してから登園するよう、ご配慮ください。

○ 医師の診断を受け、保護者が記入する登園届が必要な感染症

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発熱出現1～2日前から発しん出現後の4日間まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	症状がある期間（発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い）	発症（発熱）した日を0日目として発症（発熱）から5日間が経過し、かつ解熱した日を0日目として解熱後3日間が経過してから
新型コロナウイルス感染症	発症後5日間	発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過すること ※無症状の感染者の場合は、検体採取日を0日目として、5日を経過すること
風しん	発しん出現の前7日から後7日間くらい	発しんが消失してから
水痘（水ぼうそう）	発しん出現1～2日前から痂皮（かさぶた）形成まで	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化してから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症3日前から耳下腺腫脹後4日間	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過し、かつ全身状態が良いこと
結核	喀痰の塗抹検査が陽性の間	医師により感染のおそれがないと認められるまで
咽頭結膜熱（アデノウイルス陽性等のプール熱）	発熱、充血等症状が出現した数日間（便の中に1ヵ月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要）	主な症状（発熱・咽頭の発赤・目の充血）が消失し2日を経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した2週間	感染力が非常に強いため、結膜炎の症状が消失し、医師により感染の恐れがないと認められてから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111等）	便汁に菌が排泄されている間	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数ヶ月排出される	医師により感染の恐れがないと認められてから
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認められてから
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後24時間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること、ただし、治療の継続は必要。
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まり、全身状態が良いこと
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱がなく（解熱後1日以上経過し）口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑（りんご病）	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと（発疹が出現した頃には感染力は消失しているため）
感染性胃腸炎（ノロ、ロタ、アデノウイルス等）	症状のある間と、症状消失後1週間（量は減少していくが数週間ウイルスを排泄しているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便の中に1ヵ月程度ウイルスを排泄しているので注意が必要）	発熱がなく（解熱後1日以上経過している）、口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	発症して3～8日間（乳児では、3～4週間）	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮（かさぶた）化してから
突発性発しん	感染力は弱いが発熱中は感染力あり	解熱後1日以上経過し機嫌が良く全身状態が良いこと
ヒトメタニューモウイルス感染症	呼吸症状のある間	呼吸症状が消失し全身状態が良いこと 手洗いを励行すること

○ 登園届は必要ないが登園には注意が必要な感染症

感染症名	登園のめやす
とびひ	皮疹が乾燥してから、または浸潤部位が被覆できる程度であること
単純ヘルペス感染症	発熱がなく、よだれが止まり、普段の食事がとれること